

2021 年度オンライン研修会のご案内

第4次産業革命と言われる急速なICT化の進行、人口減少による少子高齢化問題、また労働環境の変化の中での人の生き方の多様性、さらにはコロナ禍が追い討ちをかけそれに伴い家族の在り方も大きく変化しています。また急速に変わる性意識の変化も念頭に置くと家族支援の在り方も従来のモデルだけではない新たな対応を迫られています。この状況下において私たちは社会のさまざまなニーズに対応するとともに、家族の在り方を今一度とらえ直し、家族の新たな価値をシーズとして社会に伝えていかねばなりません。

さて、本協会はこれまでは夏期・春期研修会と称して集合研修を開催してきました。しかし目下のコロナ禍のリスクを考えるとともに、東京以外の地に住まれる方々の参加機会を増やすことを再考し、オンラインによる研修をシリーズで開催することにしました。この起ち上げにおいては、協会の有志の自由意思で研修委員会を起ち上げ、自分たちの問題意識を軸に8回にわたる研修を企画しました。

今年度の年間の研修テーマは「激動時代の家族支援」です。今年度は従来以上に事例を織り込み、実際の集合研修に近い場面設定を考えております。そのためにグループワークを重視し、受講者のスキル向上を目指してまいります。また研修を通し講師を含めた受講者間の人的ネットワークづくりに寄与することも大切な課題ととらえています。

ところで皆さんは「啐啄同時」（そつたくどうじ）という言葉をご存じでしょうか。ひな鳥が卵の殻の内側からコツコツと叩くことを「啐（そつ）」と言い、親鳥が卵の殻の外側からつつくことを「啄（たく）」と言うそうです。ひな鳥と親鳥のタイミングが合ってひな鳥ははじめて卵から孵ることが出来る。これを禅の世界では「啐啄同時」というそうです。協会がまさにこの時期ではないでしょうか。会員の皆さまそれぞれが力を蓄え、社会のニーズに向き合い、目の前のクライアント・友・家族のために力を尽くそうではありませんか。

NPO 法人日本家族カウンセリング協会理事 根本 忠一

年間スケジュール 原則、毎月第2日曜日 13:30-16:30 にオンラインで開催します

	日程	講師	テーマ(内容)
第1回	8月8日(日)	坂本 真佐哉 先生	家族における解決を生み出す会話のしくみ ～ブリーフセラピーとナラティブ・セラピーから～
第2回	9月19日(日)	小林 奈美 先生	人生100年時代の家族支援 ～90歳、誕生日の一日～
第3回	10月10日(日)	団 士郎 先生	家族理解入門 -家族の構造理論を活かす
第4回	11月14日(日)	飯田 俊穂 先生	仮) 最新の脳科学と心理アセスメント
第5回	12月12日(日)	小島 健一 先生	法格言『法は家庭に入らず』を今こそ考えてみる
第6回	1月9日(日)	杉原 保史 先生	家族カウンセリングへのSNS活用の可能性
第7回	2月6日(日)	深津 千賀子 先生	精神分析からみた家族 ～ウィニコットの母子関係の発達論を中心に～
第8回	3月13日(日)	生田 倫子 先生	コロナ禍における家族を取り巻く情勢理解と面接実践